

令和三年度 学校推薦型選抜 I 小論文解答例

設問 1

著者は、根源的な道徳規範は人を思いやる心、利他の心であると考えており、それを失った理由は、大人が子どもにそれを教えてこなかったから、また、道徳規範となる宗教がないがしろにされてきたからだと考えている。(100 文字)

(設問のねらい：文脈をとらえることが出来ているかを見る問題)

設問 2

我々日本人が、自主性を尊重する個性教育を重視し、人間として備えるべき当たり前の道徳や社会生活を営む上での最低限必要なルールを身につけることがおろそかにされてきたため、個性教育と道徳教育が上手く両立できていないと著者は述べている。

戦前のような国家神道を軸とした思想統制は我が国において二度と起こってはならず、これからグローバル化した国際社会で生きていくためには、自主性や個性を大切にして、創造力を高め、自己の考えを的確に主張できるような個性教育を推し進めていくべきである。私もこの戦後の自主性と個々の特性を延ばす個性教育の恩恵を受け、この素晴らしい教育は今後も日本の教育の主軸となるべきであると考える。一方、道徳教育に関しては、個性教育の中でも我々は道徳教育を受けており、決して道徳教育がおろそかにされているとは思わない。重要な点は、道徳教育で教わったことをどれだけ身につけ、日常生活の中でどのように道徳規範を実践出来ているかである。自主性や個性を主張するためには、人間として果たすべき義務、守るべき道徳規範があることを忘れてはならない。著者の述べているように自分のことはさておき、人を思いやる心や利他の心を忘れずに、「人間としてどう生きるべきか」を常に念頭に置きながら行動することが重要であると考える。(552 文字)

(設問のねらい：個性教育と道徳教育の在り方や両立について、著者の考え方を踏まえて、自分の考え方を論理的に展開できるかを見る。)